学校番号	216

平成 31 年度　地理歴史科

教科	社会	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の地理Ａ」　（帝国書院）						
副教材等	「新詳高等地図」　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ＩＣＴ機器及び実物教材を使用し、生徒の「実感」を伴う学びを目指します。
生徒に「なぜ？」と考えさせるような、問題解決型の授業展開を展開します。
小テストなどを実施し、反復学習により確実に基礎知識を身につけさせます。

2　学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連を踏まえて考察し，現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意識的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きるために必要な知識を深めようとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	小テスト ワークシート 授業態度	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	現代世界の特色と世界の諸地域の課題	【第１章】旅からとらえる現代世界					a:地球や地図、現代世界の仕組みに関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 b: 平面で表されることの多い地図を、地球という球面で考えていなければならないことを理解し、地図を使った作業で表現できている。 c:時差の仕組みを理解し、時差計算ができている。 d: 様々な種類の平面地図のメリット・デメリットを理解している。また、現代世界の仕組みや諸課題を理解している。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
		①旅の目的はいろいろ	○		○			
		②海外旅行を身近にしたもの		○		○		
		③旅を身近にする地図			○			
		④緯度が違うと何が違う？				○		
		⑤経度が違うと何が違う？	○			○		
		⑥ほかの国に入るということは	○	○				
		⑦日本の領域と領土問題		○				
		⑧国どうしのまとまり				○		
		⑨モノの産地はいろいろ	○		○			
		【第2章】世界の自然環境と文化 ［１節：地形］					a:世界の自然環境を理解するために、地形と気候について感心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 b:世界の自然環境を地形と気候の面から捉え、なぜ差異が生じるのか考え、人間生活への影響について判断し、表現することができている。 c:雨温図を作成する作成する作業を通して、世界を各気候区分に分類することができる。 d:人々の生活様式の差異を地域的環境との関わりから理解できる。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
		①躍動する大地		○		○		
		②川が作る地形		○		○		
		③海岸で見られる地形		○		○		
		④氷河地形･カルスト地形		○		○		
		［２節：気候］						
		①地域による気候の違いと人々の生活	○	○				
		②熱帯の気候と人々の生活			○	○		
		③乾燥帯の気候と人々の生活			○	○		
		④温帯の気候と人々の生活			○	○		
		⑤亜寒帯･寒帯の気候と人々の生活			○	○		
		［３節：文化］						
		①宗教･言語と人々の生活	○	○				
		②生活･文化のグローバル化				○		
		【第３章】世界の諸地域の生活･文化 ［１節：中国］					a:中国・韓国・東南アジアの人々の生活文化について関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 b: 現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現している。 c: 地図や統計などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 中国・韓国・東南アジアの自然環境や歴史的背景を理解し、世界各地の生活様式や文化に関する知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
		①中国の自然	○			○		
		②多民族国家と社会		○		○		
		③食文化と農業の変化	○		○			
		④工業発展と生活の変化			○	○		
		⑤中国の課題		○		○		
		［２節：韓国］						
		①韓国の自然	○			○		
		②韓国の文化と歴史		○		○		
		③産業と生活の変化		○		○		
		［３節：東南アジア］						
		①東南アジアの自然	○			○		
		②東南アジアの歴史と文化		○		○		
		③東南アジアの農業			○	○		
		④経済の発展とASEAN			○	○		

2	現代世界の特色と世界の諸地域の課題	［4節：南アジア］					a:南アジア・西アジア・中央アジア・アフリカ・ヨーロッパの人々の生活文化について関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 b: 現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現している。 c: 地図や統計などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 南アジア・西アジア・中央アジア・アフリカ・ヨーロッパの自然環境や歴史的背景を理解し、世界各地の生活様式や文化に関する知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
		①南アジアの自然	○			○		
		②ヒンドゥー教の生活･文化			○	○		
		③発展する産業			○	○		
		［5節：中央アジア･西アジア･北アフリカ］						
		①中央アジア・西アジア・北アフリカの自然	○			○		
		②イスラームというまとまり	○	○				
		③豊かな資源と生活様式の変化		○		○		
		［6節：サハラ以南のアフリカ］						
		①サハラ以南のアフリカの自然･生活･文化	○			○		
		②自然環境に適した農業		○		○		
		③豊富な資源が生み出す光と影	○			○		
		［7節：ヨーロッパ］						
		①ヨーロッパの自然	○			○		
		②キリスト教に根ざす生活			○	○		
		③ヨーロッパの農業と食文化		○	○			
		④ヨーロッパの工業		○		○		
		⑤ヨーロッパの統合	○			○		
		［8節：ロシア］						
		①ロシアの自然･文化	○			○		
		②生活様式の変化と産業の発展			○	○		
3	現代世界の特色と世界の諸地域の課題	［9節：アメリカ合衆国］					a:アメリカ大陸・オセアニアの人々の生活文化について関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 b: 現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現している。 c: 地図や統計などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: アメリカ大陸・オセアニアの自然環境や歴史的背景を理解し、世界各地の生活様式や文化に関する知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
		①アメリカ合衆国の自然	○			○		
		②移民国家としての歴史と多文化社会		○		○		
		③世界の市場に影響を及ぼす農業			○	○		
		④世界をリードするアメリカの工業				○		
		［１０節：ラテンアメリカ］						
		①ラテンアメリカの自然	○			○		
		②ラテンアメリカの歴史と文化			○	○		
		③ラテンアメリカの産業と課題	○			○		
		［１１節：オセアニア］						
		①オセアニアの自然と観光	○			○		
		②オセアニアの歴史と多文化社会			○	○		
		③オセアニアの産業	○			○		
3		【第４章】地球規模で広がる課題					a: 複雑にからみ合う地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている b: 直面する地球規模の課題を見出し，それを地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
		①世界の人口問題			○	○		
		②世界の食料問題			○	○		
		③都市･居住･環境問題	○	○				
		④資源･エネルギー問題			○	○		
		⑤世界の環境問題		○		○		

		⑥地球的課題の解決に向けて	○		○		その過程や結果を適切に表現している。 c：地球的課題のさまざまな結びつきを表す図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：複雑にからみ合う地球的課題について，その背景にある先進国と発展途上国との経済格差などに着目し，基本的な事がらや追究の方法を理解し，その知識を身につけている。	
	身近な地域の課題	【第１章】身近にあるさまざまな地図					a：身のまわりにある様々な地図と特色に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b：身のまわりにあるさまざまな地図とその特色について，日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：身のまわりにあるさまざまな地図を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：身のまわりにあるさまざまな地図の用途に応じた活用やその知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
		①さまざまに表現される主題図			○	○		
		②一般図の利用	○			○		
		③GISを用いた地図表現		○	○			
		【第２章】日本の自然環境と防災					a：身近な地域の防災に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b：身近な地域で発生しやすい災害とそれによる被害について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて多角的・多面的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c：身近な地域のハザードマップや過去の災害に関する統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：身近な地域で発生しやすい災害を捉え，自分たちにできることを考察し，その知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査
		［１節：日本の自然環境］						
		①日本の地形	○			○		
		②日本の気候			○	○		
		［２節：防災の取り組み］						
		①身近な地域の防災を考える	○	○				
		②地震災害と防災			○	○		
		③火山災害と防災			○	○		
		④風水害・雪害と防災	○			○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。